



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Share Rotary-

みんなにロータリーを

Serve People

みんなに奉仕を

1983~'84 R.I 会長 ウィリアム E. スケルトン
長谷川会長 クラブターゲット 青少年の心にロータリーのほほえみを

第 281 回 例会 59 年 1 月 29 日 第 287 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
50名	26名	54.16%	

欠席者

古川、布施、二見、合田、後藤、原田、細野、菊地、前原、松本(忠)、松崎、南川、三浦、長野、中西、杉山、高橋、竹之内、種ヶ島、土屋、青木、岡本 (病欠承認者2名)

本日のプログラム 2月 9日
卓話「死ぬこと生きること」 亀谷志郎君

次週予定 2月 16日
5分間スピーチ 「最近のお客気質」

司会 副SAA 伊藤 英夫君
ソングリーダー 上村 幹雄君「我等の生業」

来週2月2日は本日の例会で振替休会となります。

委員会報告

親睦活動委員会 委員長 橋本健彦君

例会に引続き家族会パーティを行います。

時間の許す限り楽しくご歓談下さい。

第2回家族会

ミュージカル観劇会

新宿西口 キャッツ・シアター

演題 「CATS」 劇団四季公演

気のおけないロータリアンの仲間と休日のくつろいだバスの中で、一杯の酒に軽い酔い心地、ついうとうと居ねむりに誘われる。ふと窓外を見れば、此処は若しやロスアンゼルスかと疑っても不思議でない高層ビルの林立、ここは正に新宿の西口、京王プラザホテルとKDDビルに挟まれた

ゲスト

ジェフ・マーチン(交換留学生)

徐 学敏君、郭 昂君、趙・南元君、孫 雨耕君(中国留学生)

有沢阿津子さん、有沢万由美さん、有沢恵美さん、近藤通子さん、小島つるさん、辻 小百合さん、長野富美子さん、鈴木よしみさん、鈴木ひさえさん、伊沢フミさん、二見のり子さん、土屋幸子さん、土屋大輔君、上村ともさん、上村とみ子さん、亀谷衣野さん、神作千栄さん

会長報告

会長
長谷川清一君

特にありません

幹事報告

幹事
古木勝治君

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：長谷川清一
会長イレクト：猪熊唯夫
副会長：上田利久
幹事：古木勝治
会報委員：杉山・福本・菊池・三浦

谷間に黒い天幕風の異様な劇場、パリやロンドンの街角のしゃれたサーカス小屋もかくやと思われ
るキャッツ・シアターがそこにあった。

開演前の客席が数分の目の慣れを経て足許の階段や席の番号がようやく読みとれる程の暗さは、従来の劇場とさして異なる程ではないが、着席して一息入れまず舞台なるものを見ると緞帳の代わりにガラクタのかたまりとも思える舞台装置が目の前に黒々と立ちはだかり、更によく見れば客席から僅か30cm程の高さのステージの向う側にも、客席らしきものがあり既に華やいだヤング達がこちら側を向いて着席している。さてこそ巷間に評判の高いミュージカルに期待の胸がふくらみ間もなく満天の星空のもとにキャッツ達の踊りが始まる。……

ここで当日残念乍ら参加出来なかった人達のために猫達が観客に何を訴えたかについて簡単にご紹介しましょう。

ジュリクル・ムーンが輝く夜、都会の片隅のゴミ捨て場に、個性豊かな猫たちが集まってきました。

乱暴猫、紳士猫、役者猫、娼婦猫……笑ったり、泣いたり、怒ったりしながら、どんな環境にも耐え抜いて、したたかに生きています。そのしぶとも見事な生きざまは現代人の人間模様そのままなのです。—さてその「ジュリクル」とは何なのでしょう。ジュリクルとはさまざまな個性を持った猫たち、その猫たちが誰でも皆持っている、ひとつのきらめき、ひとつの本質を言うのだと訴えています。姿こそ猫ですが、それは鮮やかに人間の世界を映し、私たちに深く問いかけてきます。私達人間の生活—それは各人各様、個性もさまざまです。しかし失ってならないものは、最もその人らしい、独特のきらめき、ではなかろうかと—

こうして20数匹のさまざまな個性ある猫たちは、舞台は勿論、天井から、2階の壁面から、さては客席のあちらこちらから、所狭しと歌い踊り終りには、セクシーな雄猫が客席の女性をさらっ

て舞台でひと踊り、などというコミカルで刺激的なおまけまでついています。

~~~~斯くしてともかくも中休みを含んで2時間30分に及ぶミュージカルは終わりました。

昔からの歌舞伎や能、或いは新派や新劇、歌劇まで含めて、従来の舞台演劇しか知らない私には斬新な演出や奇抜な装置にただただ圧倒され通してしたが、さて皆さんは如何でしたか？。

たまたま帰りのバスで隣席の長谷川会長と北砂会員に感想を尋ねてみました。

素晴らしい 歌や踊り 人間訓練すれば何でも出来るのだなあ—。

演出のうまさに驚き！

ミュージカルというものにある種イメージを持っていたせいか、時代に取り残された感じ、隔世の感一入、(年をとったせいでしょうか?)若い人や、子供達には是非見せてやりたい。前半は寝ていました。(それはお酒のせいでしょう)

何しろこういうところは一人では来れない。ロータリーのお蔭です。ありがとうございました。

(K.F.記)

